

公表：2022年3月16日

事業所名：障がい児通所支援事業所きらら

職員数：9名 回収数：9枚 割合 100%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	意見・工夫している点、改善点
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	4		・コロナ禍で密にならないように活動場所を分けて分散し実施している。
	2	職員の配置数は適切であるか	6	3		・人員基準は満たしている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	8	1		・廊下やトイレは手すりを設置し、敷地内・施設内は段差もないので車椅子での移動も可能。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	9			・新しく始めることは職員間で意見を出し、実践、改善と話し合いをしながら進めている。 ・会議やミーティング等の時間に話し合いの場を設けている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	9			・年間行事アンケートや評価表アンケートを実施し、保護者の方の意見・要望把握に努めている。 ・保護者の意向を踏まえ業務改善に繋げている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8	1		1年に1回公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	5	4		・コロナ禍で外部の方の訪問は制限している。コロナ感染症が収束した際には、検討する。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	9			・研修等の案内は掲示している。 ・オンラインでの研修が主流になっている。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	9			・6ヶ月に1回以上モニタリングを行い、それぞれのお子さまに必要な支援や目標を職員間で話し合い、計画作成をしている。 ・いろいろな職種の意見を聞き、様々な視点からの課題等を分析している。 ・今後はオンラインでの相談やアセスメントも検討する。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	4		・適切な専門機関で検査を実施してもらい、その資料をもとに保護者の方との面談を行っている。 ・独自のアセスメントシートは作成している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	9			・いろいろな得意分野をもった職員が集まり活動内容を検討している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	9			・日々の活動も発達特性を考え、チームで検討している。 ・曜日やその日の利用人数等を見て、日替わりでプログラムを組んでいる。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	9			・お子さまの年齢や発達特性に応じた適切な課題を設定できるよう配慮している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	9			・コロナ禍で集団活動は極力減らし、小グループを設定し学習、創作活動、SST、身体づくりなどの活動を実施している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7	2		・朝礼で、職員間での共通理解はできている。 ・ミーティングファイルで申し送りをしている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6	3		・支援終了後すぐに振り返りの時間をとることは送迎等の関係で難しい。急を要する場合は話し合いをしているが、振り返りや報告は翌朝に実施している。
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	9			・日誌、行動記録をとることを徹底し、振り返りを行っている。	
関係機関や 保護者との 連携	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	9			・6ヶ月に1回以上はモニタリングを実施し、保護者の方とお話する機会を設け計画を見直している。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	9			
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8	1		

関係機関や保護者との連携	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	8	1	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の方の同意のもと、学校へ電話連絡をしたりケース会議を開催したりして密に情報共有している。 ・学校によっては個別日程表をお渡ししているところもある。
	22	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	8	1	<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援事業所からの情報共有はできている。
	23	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	5	3	<ul style="list-style-type: none"> ・対象者はなし。 ・回答なし1名
	24	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7	2	<ul style="list-style-type: none"> ・研修案内や相談等については連携が取れている。
	25	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	3	<ul style="list-style-type: none"> ・月に1回、同法人事業所のフェアに参加し、地域のお子さまとのふれあいや買物体験を実施している。 ・コロナ感染拡大状況を見ながら検討したい。
	26	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	7	2	
	27	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	9		<ul style="list-style-type: none"> ・自宅への送迎時、また電話やLINEなどで日々のお子さまの様子をお伝えしている。
	28	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	2	6	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアレントトレーニングも今後検討・課題である。
保護者への説明責任等	29	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	9		
	30	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	9		<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて面談や電話相談に応じている。内容によっては他機関の紹介も実施している。
	31	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	6	3	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は、少人数での親子ふれあい会(研修等)を開催した。できる限り保護者の方向士の連携もニーズにより継続していきたい。
	32	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9		
	33	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	9		<ul style="list-style-type: none"> ・お便りやLINE等で予定や活動の様子、行事など保護者の方にお知らせしている。
	34	個人情報に十分注意しているか	9		
	35	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	9		<ul style="list-style-type: none"> ・視覚的提示・簡潔に具体的に話すなどお子さまや保護者の方にわかりやすく配慮している。
	36	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	9		<ul style="list-style-type: none"> ・同法人事業所の月1回フェアに社会体験学習として参加し、地域住民の方とも交流を図っている。
非常時等の対応	37	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	8	1	<ul style="list-style-type: none"> ・マニュアルは整備している。
	38	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8	1	<ul style="list-style-type: none"> ・法人全体での訓練は実施している。 ・行事の一環として防災学習に取り組んでいるが全員が参加できていないので日を分散し訓練ができるよう検討する。
	39	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	9		<ul style="list-style-type: none"> ・法人全体での研修や施設内での研修など年間計画を立案し参加している。
	40	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	9		
	41	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	8	1	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に保護者の方よりアレルギーの有無は聞いている。医師の指示書はないが保護者の方の申し出により、アレルギーについては配慮をしている。 ・既往歴・アレルギー一覧表を作成し職員間で周知できるようにする。
	42	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	9		<ul style="list-style-type: none"> ・年に1回項目ごとにとまとめ、原因、改善策を記入し事例集を作成し、再発防止に努めている。